

変えよう鎌ヶ谷！市民が主役 県政通信

千葉県議会議員

岩波はつみ

発行日：2025,04,10(No73)

発行者：千葉県議会議員 岩波初美

■岩波初美事務所■

〒273-0124 鎌ヶ谷市中央 1-1-34 前田ビル 3F

電話 047-445-5780 FAX 047-445-5790

メール kamagaya@iwanamihatsumi.com

活動ブログ <https://iwanamihatsumi.com>

【鎌ヶ谷市東部エリア特集】



【歩道拡幅と景観に配慮した美しい住宅都市条例を】

鎌ヶ谷8丁目県道歩道、鎌ヶ谷9丁目宅地造成から学ぶ 美しい住宅都市をつくるための市の役割

利便性と快適空間を兼ね備えた住宅都市を志向する鎌ヶ谷市条例が必要です。

条例とは市民と行政と事業者の約束事です。宅地造成・家屋の建て替えをする際には、面する歩道は歩行者に不都合が発生しないように拡幅の責務を市が負うこととします。開発事業者はそのルールに沿って、歩道拡幅分を売却することになりますので、こうして道路環境は徐々に整っていきます。

広大な宅地造成においては、周辺の住民に不利益が生じないよう、周辺への景観に配慮した項目を実行していただきます。隣地に接して盛り土擁壁が高々と積み上げられ「法律ギリギリ合法だから何でもできる」という思想での開発は抑制していただきます。(盛り規制法資料裏面) 周辺住民が求めた「擁壁を後退させて、擁壁と宅地の間に植樹帯を」は実現できたはずです。



鎌ヶ谷8丁目、狭い歩道がそのままに宅地が出現



鎌ヶ谷9丁目大規模造成。盛り土擁壁の圧迫感甚大

岩波はつみ県政報告会ご案内

日時 5月17日(土)13時半~15時

会場 鎌ヶ谷市中央公民館 学習室1

※参加は自由です。直接会場へ

地元経済を動かし財政を立て直す 人の和、大地の力で市民が歩きたくなる街を創る

野馬追とつこめの歴史を現代につなぐ

仔馬のいる野馬追公園を観光のシンボルへ

「武者行列だけで満足していない」 3月上旬、女子4人組で南相馬市・相馬市へと出向き野馬追交流会を2泊3日で行ってきた。その際に現地のリーダーからの上記発言があった。

この野馬追交流の目的は、私が温めてきたプラン、仔馬と小動物のいる「とつこめ公園」、とつこめを再現して、その中に仔馬、それも貝柄山公園のブロンズ像、馬の親子のような、背丈が低く、足の太い在来種の仔馬、ヤギや羊のような小動物がいて、子どもたちがお世話仕事のできる公園を市政公園の延長に造りたい。



野馬追いの開催地 福島県南相馬市での情報交換

岩波初美（イワナミ ハツミ）経歴

■1959年（昭和34年）山梨県生まれ

■鎌ヶ谷市鎌ヶ谷1丁目在住

■夫・子ども3人・孫5人

■千葉大学教育学部卒業、千葉工業大学大学院修士課程修了。

■大学卒業後、生活協同組合職員8年、鎌ヶ谷市議会議員4期。NPO法人役員、会社役員を経て、アクアライン800円提言・実現。千葉工業大学特別講義講師11年間務める。NPO法人元気になるろう福島理事、鎌ヶ谷市長選挙に3回挑戦。

■現在 2019年4月より千葉県議会議員2期、知的障がい者グループホーム職員、児相と親子の架け橋千葉の会世話人、児童相談所のあり方を考える地方議員懇談会代表、北千葉道路地下化で街づくりの会顧問



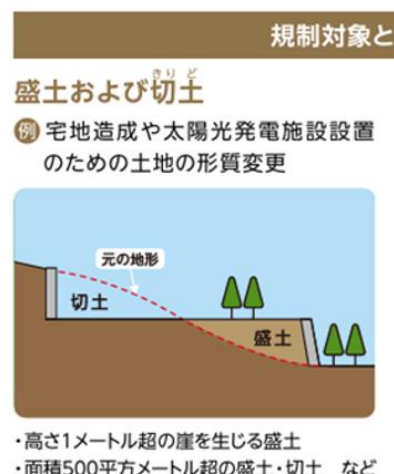
東中沢に現存する史跡 野馬を追い込む【とつこめ】

野馬追発祥の地である千葉県北西部と神社の神事として1,000年の歴史を持つ相馬野馬追、馬を通じた行き来や新規プロジェクトを生み出したという願いが、相馬の皆さんも共通していることが分かっただけで、大きな成果となった。

地元には、野馬追の関わる多数の団体が動いているので、企画内容を実現するには、そうした民間団体を通して行うことが有効であるという提案をいただいて帰ってきた。

加えて、野馬追エリア南部は3.11原発事故により避難した地域と重なる。全住民が10年近く故郷を追われた後、新たな街が出現し、新たな住民が移り住んできているこの場所で、野馬追イベントを軸に故郷を復興させようという願いが聞こえてきている。

盛土規制法資料 千葉県民だより3月号より抜粋 本年5月から危険な盛土等への規制を開始



盛土による土砂災害を防止するため、鎌ヶ谷市内は全域に盛土規制がかかり、1メートルを超える盛土等を行う場合は、安全対策基準に適合する条件とし、県知事の許可が必要となった。勧告や指導もありうる。